

第1章 ビジョンの策定について

- ・昭和57年に開館し、令和4年度には開館40周年を迎え、この間コレクションも約500点からおよそ13,000点となり、日本・東洋古美術を中心として、国宝2点、重要文化財29点のほか西洋近代美術を擁する国内有数の美術館となりました。
- ・一方、収蔵品の増加による展示スペースの不足、展示機能の向上の必要性及び収蔵庫の狭隘化、施設及び設備の老朽化が著しく、展示・収蔵施設の全面的な更新が不可欠になっています。
- ・和泉市が誇る文化財産としてさらに魅力を高め発展し、存続するため、10年後を見据えた将来像を描き、目的や方針を明らかにし、活動指針となる運営ビジョンを策定するものです。

第2章 運営ビジョン策定の背景－和泉市久保惣記念美術館の歩み

1. 沿革と概要

- ・明治期からおよそ100年間に渡り綿紡織業を中心に経営を続け、昭和52年に廃業した「久保惣」より、国宝、重要文化財を含む約500点と土地、建物、運営基金を地域文化の発展と地元への報恩の意を込めて和泉市に寄贈されました。
- ・和泉市の中央部に位置し、昔ながらの木造家屋が残る落ち着いたまちなみが形成された地区内にあり、松尾川沿いの素晴らしい自然環境に包まれています。
- ・敷地面積は約5,000坪あり、美術館本館・新館、西棟、市民ギャラリー、市民ホール、茶室、市民創作教室、研究棟で構成されています。

2. これまでの取組と特色

- ・収蔵品数はおよそ1.3万点あり、浮世絵版画、やまと絵、工芸等が主なものです。コレクションとして、久保惣や久保家からの寄贈品（第一次～第六次久保惣コレクション）の他、中国近代絵画の定静堂コレクション、中国の工芸品の江川コレクションがあります。
- ・展示事業（常設展・特別陳列・特別展）、教育普及事業、市民ギャラリー事業、市民ホール事業、市民創作教室の活動、和泉・久保惣ミュージアムタウン事業を実施しています。



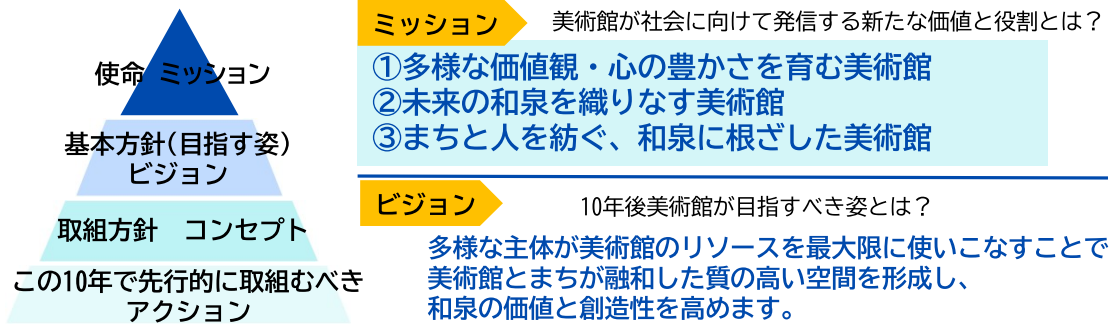
富嶽三十六景 凱風快晴 葛飾北斎

花飾りの女
ビエリ・オーギュスト・ルヴール

3. 成果と課題

- ・地域経済を支えた地元企業からの寄贈という歴史があり、収蔵品の数、質、多彩さは国内有数で、常設展、特別展に定評があります。茶室や庭園など空間がもつ魅力もあります。
- ・和泉・久保惣ミュージアムタウンとしてパブリックアートやアートギャラリーなど新たな魅力が創出されました。
- ・大阪・関西万博を契機としたインバウンドのさらなる集客や美術館を核としたまちづくりなど多様な主体との連携が必要です。
- ・施設・設備のリニューアルや来館者の属性の偏り、平日の来館者数の確保に加え、学芸員や運営財源の確保等のマネジメントの課題があります。

第3章 和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン



根幹・本質の磨き上げ

コンセプト

美術館のビジョンを達成するための具体的な取組の方針

1. 美術品の収集、保存・活用：美術品収集と充実、適切な保存、デジタルアーカイブの推進・活用
2. 調査・研究の充実：専門性を高める調査・研究、人材確保、成果を伝える出版物の発行
3. 展覧会・教育普及の充実：展覧会の充実、他館との連携、展示環境の整備、学校との連携等

根幹・本質を伝える

4. 伝えたい人に「伝わる」広報・発信：市広報掲載、SNS等の充実、関係機関への情報提供等

地域、社会との多様な関わり

5. 多様な主体との連携協力、パートナーシップ：教育機関・企業家・和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアム・国際交流機関・医療福祉機関との連携
6. 地域活性化（地域貢献、交流促進、観光振興）：各施設を活用した来館者層の拡大、インバウンド向けの取組

根幹・本質を支える基盤整備

7. 経営、環境、施設整備：収益の向上・確保、来館者数の確保、マネジメント強化と民間活力の活用、施設リニューアル等

第4章 ビジョン推進のために(先行的取組)

運営ビジョン達成のために、まずは次の5つの項目について先行的に取り組みます。

1 美術館を知ってもらいより多くの方に来て頂く広報宣伝活動とインバウンド戦略

【取組の一例】

- ・大阪・関西万博開催やIRの開業を見据えた展覧会開催と戦略的プロモーションの実施
- ・浮世絵版画を主力にした展覧会の開催と、対応する展示室のリニューアルの推進

2 関係機関との連携協力により美術館のリソースを最大限に使いこなす

【取組の一例】

- ・美術館を応援し利用する「（仮称）企業家プレミアムクラブ」や桃山学院大学と「（仮称）キャンパスメンバーズ制度」の創設検討
- ・小学校の美術館活用プログラムや中学校美術部とのコラボ事業の検討

3 リニューアルの推進により、収蔵品を最大限活かした展覧会の開催と次世代につなぐ美術館

【取組の一例】

- ・リニューアル基本構想の策定
- ・ふるさと納税など資金確保やその他の収益確保

4 グローバルな文化財産として、他館との連携強化と世界的美術館との交流促進

【取組の一例】

- ・国内美術館とのこれまでの繋がりを基に次代を担う学芸員とのネットワーク構築
- ・海外の美術館で実施した調査や交流内容を広く伝え、その成果を美術館運営に活かす

5 組織マネジメントの強化と効率的で効果的な運営へ

【取組の一例】

- ・市学芸員による調査・研究・収集・展覧会業務の充実及び多様化するニーズへの取組
- ・施設管理業務や広報業務を専門性のある民間事業者への一括発注など、美術館運営を担う一般財団法人和泉市文化振興財団の職員が直接行う業務の整理